

※一部非公開

令和2年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の文章を読み、問に答えよ。

**非公開**

非公開

非公開

(山岸俊男, 『社会的ジレンマ』, PHP 研究所, 2000 年, 18~21 ページ, 37~39 ページ抜  
粋)

出題者注 権利を持つ地域住民が共同で利用できる林原野など

問 筆者は文中で「共有地の悲劇」と呼ばれる社会的ジレンマ問題について述べている。この問題が発生する理由を、文章中の下線部に着目して説明せよ。そして、現代社会において同じ理由から発生していると考えられる具体的な問題をあげ、とくに2ページの中略以降の文章を参考にして、その解決策としてどのようなことが考えられるか述べよ。合計1000字以上1200字以内でまとめること。

## 令和2年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

### 出題の意図

この問題は、国際地域創造学部のアドミッションポリシーにある「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対する関心」、「主体性をもって課題に取り組む態度」を受験生がどの程度持っているかを判定することを意図したものである。

取り上げた文章は、いわゆる「共有地の悲劇」という社会的ジレンマ問題について論じている。その骨子は、個人が不適切な行動をとる利益が本人に帰属する一方、損害は広く社会に分散するようなケースにおいて、多くの個人が不適切な行動をとり、結果として社会全体が望ましくない状態に陥ってしまう、ということである。環境問題をはじめ、今日の多くの社会・経済上の問題が同様の構造を持つと考えられている。

受験生には、文章で取り上げられている問題を正確に理解した上で、それを現実の具体的な事例に応用して考えることができるかどうかが求められる。